



世界マスターズ陸上優勝祝賀会

400mリレー『譜久里 武』さん

日時：平成27年11月26日（木） 場所：具志川改善センター

「譜久里

武」

世界マスターズ陸上
優勝祝賀会



恩師・高江洲ヤス先生との絆

高校時代、野球部だった譜久里さんに陸上部への道を進めたのが高江洲ヤス先生です。

譜久里さんが、全国各地で講演する中、転機のかげとなった人物として紹介される恩師で、譜久里さんも久米島に帰る時は、必ず、高江洲先生のところに行き、近況報告は欠かせないといいます。

高江洲先生は、譜久里さんのことを世界一の偉業を残した教え子とし、陸上でこれだけ実績を残している他に、人間としてもとても成長しており、本当に嬉しいと話しました。

2015年8月16日、フランスリヨンで開催された「第21回世界マスターズ陸上競技大会」に40歳クラス400メートルリレーの日本代表チームとして出場し、見事、金メダルを獲得した譜久里武さん。
譜久里さんの偉業を祝おうと多くの関係者が集まりました。主催者の久米島町体育協会の仲代会長は、「島の後輩らに良い刺激となっている。譜久里さんは、まだ進化している途中なので、町体協としてもバックアップをしていきたい」と激励のあいさつをしました。
譜久里さんは、「久米島の皆さんには本当に感謝しています。世界で日本・アジア人はレベルが低いと思われる。久米島の育てたパワーで今後も頑張っていきたいです」と話しました。

～ 40歳以上の日本人・アジア人で初めて100メートルを10秒台で走ったスプリンター～

2013年に行われた世界マスターズ陸上においてM40クラス（40～44歳）男子100メートルで銀メダルを獲得。

現在は、陸上クラブアスリート工房の代表として陸上競技の普及・競技力向上に取り組む一方、2016年開催の世界マスターズ陸上オーストラリア大会にてM45クラス（45～49歳）男子100メートルでの金メダルおよび世界記録樹立を目指しトレーニングに励む。